

2019

15号

環境経営 レポート

H30年4月 ~ H31年3月

当社の環境スローガン

みんなで守ろう
生まれ育ったゆたかな自然

<目次>

1、会社概要	P1
2、環境経営方針及び環境経営目的・目標	P2
3、環境経営組織	P3
4、平成30年度 環境活動	P4
5、平成30年度 環境経営目標と実績	P5-6
6、環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P7
7、代表者による全体評価と見直し結果	P7
8、令和元年度 環境経営計画	P8

令和 元年 7月 4日 改定

令和 元年 5月 28日 作成

株式会社 東和製作所

1. 会社概要

商号 株式会社 東和製作所

創業 昭和23年10月

本社工場

〒505-0022 岐阜県美濃加茂市川合町4丁目5番2号

蜂屋工場

〒505-0039 岐阜県美濃加茂市蜂屋台1-6-5

面積 敷地:19,882㎡ 建物:11,424㎡ (本社)

敷地: 8,030㎡ 建物: 2,700㎡ (蜂屋)

連絡先(本社) TLE : 0574(25)3828

FAX : 0574(27)1021

E-mail towamfg@towa-gifu.co.jp

URL <http://towa-gifu.co.jp>

資本金 5,200万円

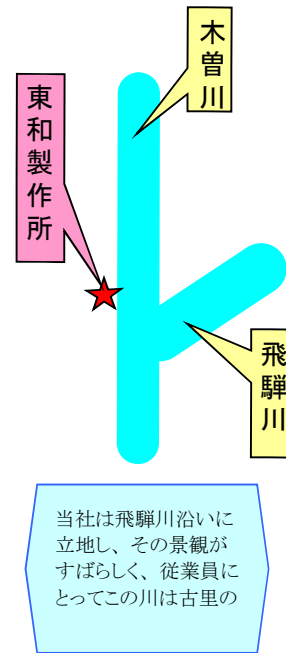
従業員 275名 (平成31年4月1日現在) { 本社:231名
蜂屋: 44名

売上高 4,189百万円 / 平成30年4月~平成31年3月

営業品目 各種産業用・フォークリフト用油圧シリンダー、
特徴 設計、製造(部品加工、メッキ、溶接、組付、
塗装の完全一貫ライン)、販売

社是 信頼・責任・友愛

EA21登録範囲 本社工場及び蜂屋工場 (全社、全組織での取り組みです)



<環境経営活動に係る履歴>

平成16年10月 : 「エコアクション21環境経営システム」に基づく環境保全活動を開始

平成17年 8月 : 「エコアクション21」認証・登録事業所に登録

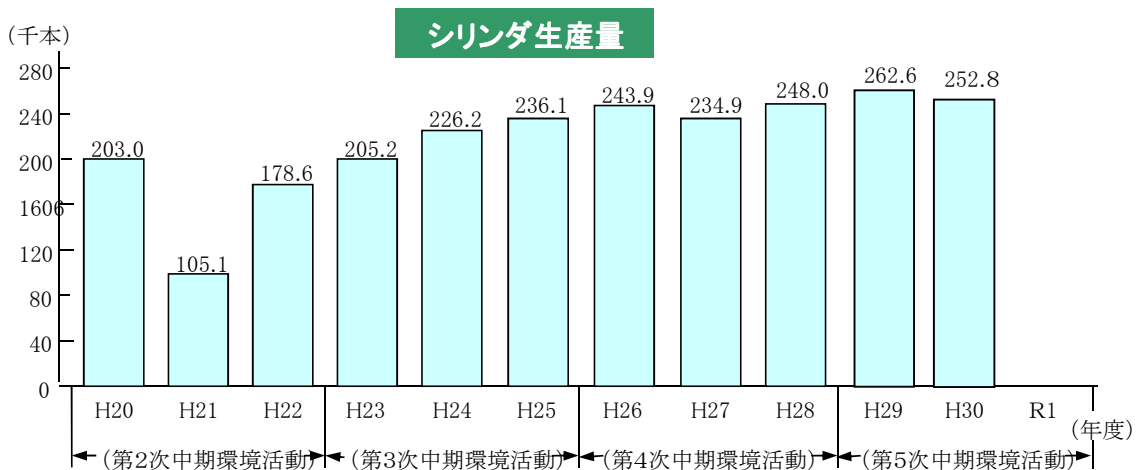
平成18年11月 : 「岐阜県環境配慮事業所」に登録

平成23年 7月 : 蜂屋工場を認証・登録対象として拡大し更新審査を受審

平成24年 1月 : 蜂屋工場が「日本緑化センター会長奨励賞」を受賞

平成27年10月 : 「エコアクション21」10周年記念大会で10年継続活動に対して感謝状を受領

生産量の推移



2. 第5次 環境経営方針及び環境経営目的・目標

第5次中期環境経営方針(平成29年度～令和元年度)

油圧シリンダの開発・設計、製造、販売及びサービスにおいて、省エネルギー、省資源に取り組む、CS、ESの向上を実現し地域社会に貢献します。
具体的には、当社の二酸化炭素排出量の85%を占める電力使用量の削減を重点事項とした環境経営に取り組み、当社に適用される環境関連法規等を遵守します。

1. 使用電力・燃料の省エネルギー化により二酸化炭素の排出量を削減します。
2. 材料、化学物質、水の使い方を改善し、これらの使用量を削減します。
3. 排出する物の再利用、リサイクルを増大し、廃棄物の量を削減します。
4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善を図ります。
5. 環境経営方針を全従業員に周知します。

スローガン

「みんなで守ろう 生まれ育った ゆたかな自然」

合言葉

「もったいない」

第5次中期環境経営目標(平成29年度～令和元年度)

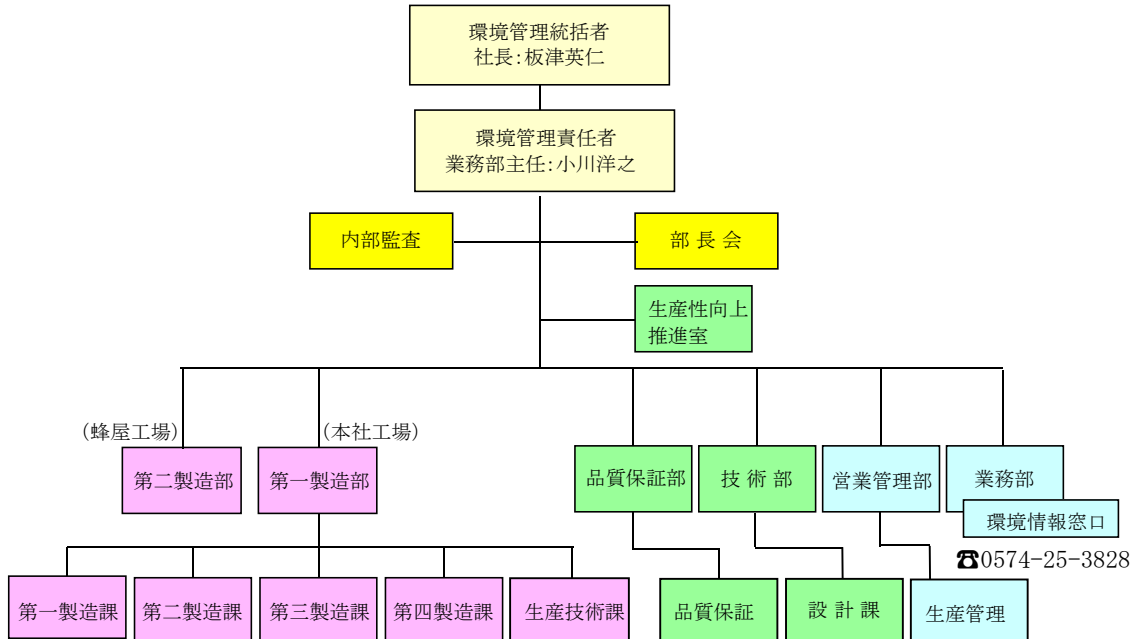
中期環境経営項目	基準値 H28年度実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1. 二酸化炭素排出量の削減 *電力・燃料消費量の削減	3,747,031 Kg-CO2	1%以上	2%以上	3%以上
2. 材料、化学物質、水の 使用量の削減	物質：1,411t 化学物質：38t 水：21,180m ³	1%以上	2%以上	3%以上
3. 廃棄物排出量の削減	最終処分量 173t	1%以上	2%以上	3%以上
4. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善を図る		1件以上	1件以上	1件以上
5. 環境経営目標・計画を全員に周知し、計画の実施と目標値の達成を図る		100%	100%	100%

(注1) 上表の1、2、3項の目標値は、基準値に対して原単位で評価します。

(注2) 上表の4、5項の目標値は、年度ごとの実績値で評価します。

3. 環境経営組織

平成31年4月1日現在



部 署	環境保全に関する主な業務
第一製造課	省エネルギー活動の実施、副資材使用量の減量、廃棄物の削減
第二製造課	省エネルギー活動の実施、副資材使用量の減量、廃棄物の削減
第三製造課	省エネルギー活動の実施、化学物質使用量の減量、副資材使用量の減量、廃棄物の削減
第四製造課	省エネルギー活動の実施、化学物質使用量の減量、副資材使用量の減量、廃棄物の削減
生産技術課	設備の保全・改善、工程設計、治具製作に関する環境活動推進産業廃棄物の管理
第二製造部	省エネルギー活動の実施、化学物質使用量の減量、副資材使用量の減量、廃棄物の削減
品質保証部	省エネルギー活動、不良品の削減
技 術 部	自ら生産・販売提供する製品の環境性能の向上及び設計による材料使用量の削減
営業管理部	受注・生産計画・出荷、外注加工品の管理に関する環境活動の推進
業 務 部	EA21事務局、環境活動の実施及び推進、グリーン購入の促進、生物多様性の保存と持続可能な利用のための取組、環境関連法規の遵守状況確認、環境活動レポートの作成と公開、社員への環境教育の実施、一般廃棄物の管理
生産性向上推進室	生産性向上に伴う省エネルギー活動の推進

4. 平成30年度 環境経営計画

環境目的及び活動項目	主要な実施事項	実施部署	評価
(1)電力消費量の削減	①高効率蛍光灯の採用	生産技術課	○
	②省エネタイプ天井灯の採用	生産技術課	×
	③非稼動時の設備動力の停止	製造部	○
(2)燃料消費量の削減	①トラックの軽油消費量の削減	営業管理部	○
	②通勤時のエコドライブ実施	全部署	○
材料、化学物質、水使用量の削減			
(1)材料、副資材使用量の削減	①梱包資材使用量の削減	第3製造課	○
	②副資材使用量の削減	製造部	△
(2)化学物質使用量の削減	①シンナー、クロム酸使用量の削減	製造部	×
(3)水使用量の減量	①水漏れの監視(異常値への迅速な対応)	業務部	○
廃棄物排出量の削減			
(1)コピー用紙の使用量削減	①コピー紙使用量の削減	間接部署	○
(2)排出物の削減	①可燃ごみの排出抑制	全部署	△
(3)不良品の削減	①顧客クレーム及び工程内不良品の削減	製造部	△
自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善を図る			
	①資源使用量の削減設計	設計課	○
環境法規制の遵守			
(1)環境法規制及び会社が同意するその他の要求事項の遵守	①環境関連法規改正の定期確認	業務部	○
	②遵守状況の定期確認	業務部	○
(2)環境測定の実施	①水質、騒音測定の実施(1回/年)	業務部	○
環境方針と取組の公開			
(1)活動計画の従業員への周知	①環境ミーティングの実施による環境意識の定着	全部署	△
(2)新入社員の環境教育	①入社時環境教育の実施	業務部	○
(3)環境活動レポートの公開	①環境経営レポートの作成と公開	業務部	○

○：達成率90%以上
 △：達成率50%以上90%未満
 ×：達成率50%未満

5、平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)環境経営目標と実績

5-1 全社

環境経営項目	目標値	A	B	増減 (A対B)	増減 (原単位比較)	
		基準値 (平成28年度実績)	平成30年度実績			
1、二酸化炭素排出量	2%以上削減	3,747,031 Kg-Co2	3,533,851 Kg-Co2	-5.7%	-1.7%	
(1)電力消費量	2%以上削減	6,380,099kWh	6,267,004kWh	-1.8%	+2.3%	
(2)燃料消費量	2%以上削減	212,680kg	167,243kg	-21.4%	-18.1%	
2 材質・ 水使用量・ 化学物質	(1)物資使用量	2%以上削減	1,411t	1,479t	+4.8%	+9.2%
	(2)化学物質使用量	2%以上削減	38t	39t	+2.6%	+6.9%
	(3)水使用量	2%以上削減	21,180m ³	15,491m ³	-26.9%	-23.8%
3、廃棄物最終処分量	2%以上削減	173t	187t	+8.1%	+12.6%	
生産品重量		3,334t	3,200t	-4.0%		

(注1)原単位比較：生産品重量比(1kg当り)で算出

(注2)CO2排出係数は、「電気事業者別排出係数平成30年提出用の中部電力(株)基礎排出係数「0.485kg-CO2/kWh」を各年度共に使用します。

環境経営項目	目標値	平成30年度実績	達成率
4、自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	1件以上	1件	100%
5、環境経営目標・計画を全員に周知し、計画の実施と目標値の達成を図る	100%	80%	80%
6、環境レポートの公開	100%	100%	100%

(注3)環境活動レポートは当社ホームページ(1ページ参照)で公開しています。

5-2 本社

環境経営項目	目標値	A	B	増減 (A対B)	増減 (原単位比較)	
		基準値 (平成28年度実績)	平成30年度実績			
1、二酸化炭素排出量	2%以上削減	1,984,998 Kg-Co2	1,794,465 Kg-Co2	-9.6%	-5.8%	
(1)電力消費量	2%以上削減	3,234,539kWh	3,155,731kWh	-2.4%	+1.6%	
(2)燃料消費量	2%以上削減	139,274kg	91,397kg	-34.4%	-31.6%	
2 材質・ 水使用量・ 化学物質	(1)物資使用量	2%以上削減	1,368t	1,423t	+4.0%	+8.4%
	(2)化学物質使用量	2%以上削減	24.3t	25.0t	+2.9%	+7.2%
	(3)水使用量	2%以上削減	7,939m ³	9,387m ³	+18.2%	+23.2%
3、廃棄物最終処分量	2%以上削減	119t	147t	+23.5%	+28.7%	
生産品重量	/	3,334t	3,200t	-4.0%		

5-3 蜂屋工場

環境経営項目	目標値	A	B	増減 (A対B)	増減 (原単位比較)	
		基準値 (平成28年度実績)	平成30年度実績			
1、二酸化炭素排出量	2%以上削減	1,762,033 kg-Co2	1,739,386 kg-Co2	-1.3%	-7.9%	
(1)電力消費量	2%以上削減	3,145,560kWh	3,111,273kWh	-1.1%	-7.8%	
(2)燃料消費量	2%以上削減	73,406kg	75,846kg	+3.3%	-3.6%	
2 材質・ 水使用量・ 化学物質	(1)物資使用量	2%以上削減	42.8t	56.1t	+31.1%	+22.2%
	(2)化学物質使用量	2%以上削減	14.125t	14.054t	-0.5%	-7.2%
	(3)水使用量	2%以上削減	13,241m ³	6,104m ³	-53.9%	-57.0%
3、廃棄物最終処分量	2%以上削減	46t	40t	-13.0%	-18.9%	
生産品表面積	/	3,013,258dm ²	3,230,000dm ²	+7.2%		

(注1)原単位比較：本社は生産品重量比(1kg当り)、蜂屋は生産品表面積比(1dcm当り)で算出

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

過去3年間で法規への違反及び訴訟等はありません。

環境関連法規	主な取組
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガスの排出抑制計画の作成と実施状況の公表(環境活動レポートの公表)
騒音規制法	毎年1回騒音の測定
水質汚濁防止法	排出水の測定と測定値の報告(本社工場年1回、蜂屋工場年2回:加茂県事務所環境課 * 蜂屋工場の排水(雨水)でBODが基準値を超えたことに対して即是正処置を実施
浄化槽法	保守点検3か月に1回、清掃6ヶ月に1回実施 毎年1回指定検査機関による水質検査実施
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の廃棄物収集運搬業者への委託 産業廃棄物管理票の交付と受取確認及び保管 毎年1回産業廃棄物処理施設の実地点検 産業廃棄物減量計画と実施状況の報告(県知事)
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	指定化学物質の排出量及び移動量の把握と届出(毎年6月末:県環境課)
エネルギーの使用の合理化に関する法律	エネルギー使用状況の把握と定期報告書並びに中長期計画書の提出(毎年7月末:中部経済産業局) * 第二種管理会社

7. 代表者による全体評価と見直し結果

平成30年度は、第5次中期(平成29年度から令和元年度)の2度目として、平成28年度実績値に対して2%改善の目標を設定して活動を進めてきました。

その結果、「二酸化炭素排出量」、「水使用量」は目標を達成しましたが、「廃棄物排出量」、「化学物質使用量」は増加しました。

「廃棄物排出量」の削減として、令和元年は「研磨汚泥の削減」を推進します。

環境経営計画の実施状況は、一部の部署で不十分な状況が見られますので、この対策を進めます。

環境関連法規の遵守状況は、「水質汚濁防止法」における排出水の測定で、「生物化学的酸素要求量(BOD)」が美濃加茂市協定基準を超えました。

これは、切粉(切削油付着)保管用設備に穴があいており、切削油が流出したことが原因であることが判明しましたので、即、是正処置を行いました。

尚、排出水は雨水のみであり、雨天以外は排出しておりません。

その他の環境関連法規は遵守しております。

内部監査は、全部署を対象に実施しました。

現在、内部監査員が少数のため、内部監査員を増員して内部監査を充実していきます。

8. 令和元年度 環境経営計画

環境目的及び活動項目	主要な実施事項	実施部署
二酸化炭素排出量の削減		
(1)電力消費量の削減	①高効率蛍光灯の採用 ②非稼働時の設備動力の停止 ③エアリーク点検の実施	生産技術課 製造部 製造部
(2)燃料消費量の削減	①トラックの軽油消費量の削減 ②通勤時のエコドライブ実施	営業部 全部署
材料、化学物質、水使用量の削減		
(1)材料、副資材使用量の削減	①梱包資材使用量の削減 ②副資材の削減	第3製造課 製造部
(2)化学物質使用量の削減	①シンナー、クロム酸使用量の削減	製造部
(3)水使用量の減量	①手洗い時の使用量削減	全部門
廃棄物排出量の削減		
(1)コピー用紙の使用量削減	①電子メール配信の促進	間接部署
(2)排出物の削減	①産業廃棄物排出抑制の推進	業務部
(3)不良品の削減	①顧客クレーム及び工程内不良品の削減	製造部
自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善を図る		
(1)材料使用量のミニマム化	①資源使用量の削減設計	技術部
環境法規制の遵守		
(1)環境法規制及び会社が同意するその他の要求事項の遵守	①環境関連法規改正の定期確認 ②遵守状況の定期確認	業務部 業務部
(2)環境測定の実施	①水質、騒音測定の実施(1回/年)	業務部
環境方針と取組の公開		
(1)活動計画の従業員への周知	①環境ミーティングの実施による環境意識の定着	全部署
(2)新入社員の環境教育	①入社時環境教育の実施	業務部
(3)環境活動レポートの公開	①環境経営レポートの作成と公開	業務部